



特許願

昭和47年4月7日

特許庁長官殿

1. 発明の名称

吸入口への排気噴出に依る気流循環式電気掃除器

2. 発明者

出願人に同じ

3. 特許出願人

住所 兵庫県神戸市東灘区芝田4丁目1番38-10613

氏名 藤川 喬雄

4. 添附書類の目録

(1) 明細書 3通

(2) 図面 1通

47 035351

方式 ()

明細書

1. 発明の名称

吸入口への排気噴出に依る気流循環式電気掃除器

2. 特許請求の範囲

ファンを回転させて生ずる正圧側排気を塵埃の吸入ロケース内部に噴出させ、負圧側の吸塵装置にて塵埃の収集を行なう気流循環式の電気掃除器。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、従来の電気掃除器の、排気口による室内空気の汚濁を解消し、且つ、清掃能力を強化するものである。

いま、図面について説明すると、モーター(2)に依りファン(3)を回転させ、排気室(1)に正圧をかける。この正圧を正圧経路(7)を通して、圧気吹き口(9)より噴出させる。これに依り、吸入ロケース(8)内部に浮遊した塵埃を含む空気は、集塵室(4)内部の負気圧に依り、吸塵経路(16)を通り吸入口(5)集塵室(4)内へ収集される。塵埃の2、3に依り、空気は再び通過して排気室(1)に回り、再び同じ経路を循環する。

従来の電気掃除器に於ては、集塵室の微細な塵埃を合した排気を室内に放散し、室内の空気を攪乱させ

①9 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 48 - 101764

④3公開日 昭48.(1973) 12 21

②1特願昭 47- 35351

②2出願日 昭47.(1972) 4. 8

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

⑤2日本分類

7214 34

920D101.4

るに、室内中に、ホコリを舞上らして下を、衛生的に、非常に有害である。

本発明は、その有害な排気を室内に放散せず、圧縮空気の噴流として、吸入ロケース内部で、低圧掃面に向けて吹き出させる。従って、掃除中の室内への排気が無くなる為、工場の有害な臭気は解消されるのである。

本2次の効果として、吸塵力に対する吸塵効率の向上と、清掃力の増大強化が果せる。即ち、従来の吸塵経路内の気流は、ファン(3)の回転に依り作られる負圧のみに依り、集塵室(4)に向って吸引されていく。本発明に依れば、従来の負圧に依る吸引に加えて、吸入ロケース内へ吹き出された正圧が吸塵経路に対し、正圧として働く為、同経路内の気流の速度を増し、吸塵力を強めて、効率の向上に大きく寄与するものである。

又、従来の吸込側の、管外への気流は静的な方向性にはない為、静止・定着している塵埃に、気流の渦に巻き込まれる。困難が伴うが、本発明に於ては、吸入ロケース内への、圧気吹き口(9)から噴き出される気流は一定の方向を有する。勢の強い流れとなる為、低圧掃面に定着している塵埃等を容易に遊離させる事が出来る。この遊離した塵埃は、容易に集塵室へ吸入される。尚、加圧の為に、モーターの排気側の位置にファンを増設してもよい。

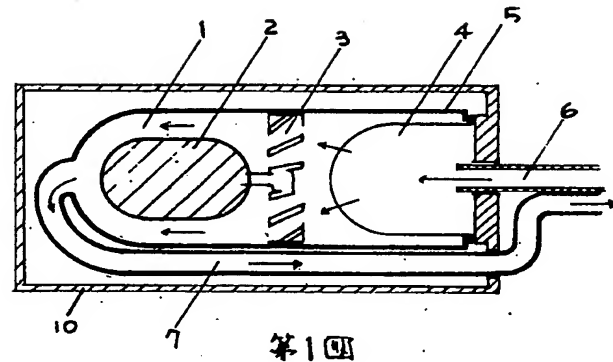
四面の簡単な説明。

第1図は、抑降器本体の縦断面図

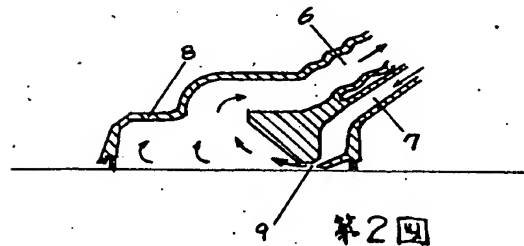
第2図は、吸込みケースの横断面図である。

- (1) は排気室。
- (2) はモーター
- (3) はギア
- (4) は集塵袋
- (5) は気密ケース
- (6) は吸塵経路
- (7) は正圧気経路
- (8) は吸入口ケース
- (9) は圧気吹き口
- (10) は本体外部ケース

図中の矢印は空気の流れを示す。



第1図



第2図